

# 分散処理を利用した治山勘定の経理事務

松本・総務課 経理係 筒木 文治

## 要旨

分散処理システムのバックアップ及び事業勘定の処理システムを利用して、試験的に治山勘定の予算管理や振込明細票を印刷したところ何点かの問題はあるものの、他のシステムに影響を与えることなく事務処理ができたのでその概要を発表する。

## はじめに

松本営林署では、治山勘定の経費が6億3千万円と経理全体の5割、負担行為件数においては4割のウェイトをしめているにもかかわらず、分散処理の対象となっていない。

国庫金振込明細票等の手書きは、時代遅れの感があり、誤記による銀行振込不能で返送されることもある。治山勘定の予算管理についても電算化によることが望まれている。

そこで、国有林野事業勘定の分散処理システムをそのまま利用して治山勘定に応用できないかと考え、営林局の指導を受けながら試しに事務処理を行ってみたところ、経費の差し引及び、国庫金振込明細票の印刷等システム活用ができたので、次にその手順を述べる。

- 1 年度の途中で試験を実施したため、現在入力済のデータをクリアーしてから、治山勘定のデータ入力する必要があった。一連の処理手順は次のとおりであるが事前処理の(3)、(4)については2回目以降は必要ない。

## 治山勘定の経理事務処理手順

### 事前処理

- (1) 事業勘定データのCTへの退避
- (2) 治山勘定データのCTからの復元(2回目から)
- (3) 事業勘定データのクリアー (年度初のみ)
- (4) 当年度歳出科目設定処理 (年度初のみ)

### 予算処理

- (1) 予算額入力処理
- (2) 予算額承認処理

### 日次処理

- (1) 支出負担行為限度額入力処理
- (2) 預託金入力処理 (事業費と工事諸費合計額入)
- (3) 支出負担行為決議入力処理
- (4) 支出負担行為限度額日計表作成処理
- (5) 支出決議入力処理
- (6) 国庫金振込明細票作成処理

- (7) 支出済入力処理
- (8) 支払額日計表作成処理

事後処理

- (1) 治山勘定データのCTへの退避
- (2) 事業勘定データのCTからの復元

歳出科目は事業勘定のため次の経費科目読替表により入力した。(表-1)

預託金については治山事業費と工事諸費の合計額を入力した。

当署では大町森林管理センターでも、入力のための端末があるため間違いのないよう、確認表を作って作業を実施した。(表-2)

表-1

事業勘定から治山勘定への科目読み替え表

事業勘定科目	治山勘定科目	治山勘定細目
職員基本給	直轄治山	工事費
職員諸手当	事業費	営繕費
超過勤務手当		宿舍費
(休職者給与)		(小計)
基幹作業職員給与	国有林野内	工事費
非常勤職員手当	直轄治山	測量及試験費
公務災害補償費	事業費	船舶及機械費
退職手当		営繕費
(児童手当)		(小計)
業務旅費	直轄地	工事費
赴任旅費	すべり防止	測量及試験費
委員等旅費	事業費	船舶及機械費
(業務費)		(小計)
(分収青林費)		(計)
自動車重量税	治山事業	日額旅費
施設費	工事諸費	自動車重量税
造林費		工事雑費
(官行造林費)		(計)

注) 事業勘定科目欄の( ) 書の内容は、小計、計の行を確保するためのもので入力しない。

表-2

作業年月日 平成 年 月 日

治山勘定分散処理手順確認表

項	目	実行者
1.	センターへの連絡	
2.	事業勘定の退避 コモンメニュー(30) PF12	
3.	治山勘定の復元 コモンメニュー(30) PF13	
4.	事務処理	
5.	治山勘定の退避 コモンメニュー(30) PF12	
6.	事業勘定の復元 コモンメニュー(30) PF13	
7.	センターへの連絡	

2 本方法のメリット

(1) 国庫金振込明細票の作成

- ① 時間が短縮できる。
- ② 記入間違いがない。
- ③ 仕上がりがきれい。

(2) 予算管理

- ① 支出負担行為限度額の残額管理が容易である。

3 治山勘定へのシステム応用上の問題点

- (1) データの退避、復元に時間がかかる。
- (2) 科目名が異なる。

- (3) 預託金が一括入力しかできない。
- (4) 科目毎の小計、計が計算されない。
- (5) バックアップについては、データ消去  
(重ね記録)の心配がある。

#### まとめ

本格的導入に向けては、タッチパネルの改良、治山勘定の科目設定あるいは、預託金の科目別入力等改良が必要であるが、平成8年度には新分散の導入も予定されており、本格導入までの間、今回発表の運用により事務の軽減を図って行きたい。